令和５年度第１回千葉市青少年センター運営審議会議事録（議事要旨）

１ 日　時

令和５年７月７日（金）　１０：００～１１：３０

２ 場　所

千葉市南部青少年センター ２階 講習室

３ 出席者

（委　員）

伊原会長、升川副会長、吉岡委員、坂本委員、西田委員、伊藤委員、岩崎委員、横田委員、中村委員

（事務局）

小池生涯学習振興課課長補佐兼所長、木澤主催事業主任指導員、安藤主査、澤田技師

４ 議　題

（１）会長及び副会長の選任について

（２）令和４年度事業報告について

（３）令和５年度施設運営方針及び重点目標について

（４）令和５年度事業計画について

①主催事業について

②維持管理業務予定について

③その他

（５）その他

５ 議事の概要

（１） 会長及び副会長の選任について

会長に伊原委員、副会長に升川委員が選任された。

（２）令和４年度事業報告について

令和４年度事業について説明し、承認された。

（３）令和５年度施設運営方針及び重点目標について

令和５年度施設運営方針及び重点目標について説明した。

（４）令和５年度事業計画について

令和５年度事業計画について説明した。

（５）その他

議事録の確定方法について承認された。

６　会議経過

（１）令和４年度事業報告について

木澤主催事業主任指導員より、資料１～１２ページ及びパワーポイントの資料を用いて、施設の概要、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応、施設利用状況、主催事業の実施状況について説明した。

澤田技師より、資料８～９ページ、施設の維持管理業務について説明した。

木澤主催事業主任指導員より、資料９ページの社会体験研修他の受入れ事業について、説明した。

（伊原会長）

ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局からご報告につきまして、ご意見ご質問がございます方は、挙手をいただければと思います。

（升川委員）

資料Ｐ６の子育て支援の講座について伺います。残念ながら３名の参加者という結果でしたが、講師の先生はどのような方でしたか。

（木澤主催事業主任指導員）

講師については、男女共同参画センターにすべて手配していただいています。

講師の氏名等については、調べてご連絡します。講座の内容としてはワークショップ的に子どもたちと様々な事を行いながら、コミュニケーションを取ってもらう講座を想定していたのですが、講義が多かった印象です。

（升川委員）

感情をコントロールすることが難しい小学生が学校にもおりますので、一定のニーズもあるのかなと思い、質問しました。

（伊原会長）

資料 P6 の学習支援「小学１、２年生のためのキッズ・イングリッシュ」について、企画・募集方法などについて、詳しく教えてください。

（木澤主催事業主任指導員）

キッズ・イングリッシュについては、５～６年前から開催をしています。

数年前は「英語で遊ぼう」という講座も実施しており、内容も重複していたため１つの講座としてまとめました。キッズ・イングリッシュは、１０回の講座とし

てスタートしました。しかし、毎週・土曜日に１０回出席することは、子どもにも保護者にも負担が大きいことから、５回に縮小しました。ただ、５回でも学校行事などで出席できない子どもがいて、内容を精査して現在の３回となりました。

講師は、千葉市国際交流協会から紹介いただきました。ただ、帰国してしまう講師もいますので、改めて国際交流協会より紹介してもらうこともありますし、講師から講師を紹介していただく場合もあります。

現在の講師の方は、千葉大学大学院の留学生の方で、その前の方も千葉大学の留学生の方に講師をお願いしていました。人のつながりで講師を確保している状況です。

（伊原会長）

その他、ご意見、ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。

そうしましたら、議題（２）令和４年度事業報告につきまして、ご承認してだける委員の皆様、挙手をお願いいたします。

【全員一致で承認された。】

ありがとうございました。

続きまして、議題（３）令和５年度施設運営方針及び重点目標についてですが、令和４年度第２回運営審議会において既に承認しておりますが、新任の委員の方もいらっしゃいますので、事務局より説明をお願いします。

（２） 令和５年度施設運営方針及び重点目標について

木澤主催事業主任指導員より、資料１３ページ～１４ページ、施設運営方針及び重点目標について説明した。

（伊原会長）

ありがとうございました。議題（３）につきまして、ご説明をいただきましたが、ただいまの事務局からのご説明につきまして、ご意見ご質問ございましたら、ご発言をお願いいたします。

（横田委員）

Wi-Fi について、整備されていないそうですが、それで間違いないでしょうか。

資料１４ページの（３）施設・設備の整備と特色ある施設の一層の有効活用を図る②の利用者の立場に立った施設整備に努めるとともに利用者サービスの向上を図ることになっており、学習のために来ている方はタブレットなどの端末を持ってくる方も多いと思います。

中学校も一人１台の端末が提供されており、夏休み期間中の自宅持ち帰りも良いとの通達が来ており、端末を利用して学習する場合には、Wi-Fi がないと繋がらないと思います。

市や国でタブレットの整備・配布を行っているのに、Wi-Fi が整備されていないのは矛盾があると思います。

（小池所長）

Wi-Fi の設置につきましては、ここ何年か各委員の方からご意見をいただいております。市としても「検討する」とのことで、議論が横ばいになっている状況です。

実際のところ、一番ネックになっているところは、この建物そのものが築５０年を経過しているということで、耐震性の問題は無いにしても、非常に老朽化しているという状況となっています。現在、市の施設で老朽化している施設について、どの様に活用していくか、全市的な検討が始まるところです。

すべての公民館には Wi-Fi が整備されている中、青少年センターに Wi-Fi が無いという現状がございます。センターの所員が Wi-Fi 設置の見積もりを取っておりまして、この施設であればどの位の予算でできるとの見通しがついたところです。

今後、関係部局とどのような手法が取れるかを相談してまいりたいと考えています。

このような状況の中、具体的に南部青少年センターがどのようになっていくかは全くの白紙の状態です。現時点で明確なことは言えませんが、５０年経過している施設に新たな設備投資は妥当ではないとの判断も出るかもしれませんし、逆に子ども、青少年の学習上、必要があると言うことで設置できるとの判断が出るかもしれません。今後の状況を踏まえながら進めていきたいと考えています。

（横田委員）

大々的な工事をしなくても、ルーターを設置すれば良いと思います。費用はそれほどかからないと思います。

（小池所長）

この施設であればどれくらいかかるかの見積もりは取っています。この見積もりをベースに考えていきたいと思います。Wi-Fi ですので、初期費用だけでなく、月ごとの使用料が発生しますので、予算措置的なことを含めて整備しなければなりません。

（伊原会長）
　Wi-Fi の整備については、検討しているということですね。設置に向けて関係部局と調整が必要ということですね。

（小池所長）
　そうですね。
　この施設が老朽化して耐震性が危険な状態があるとかでは無くて、純粋に設置してから５０年を超えているグループに入っている中で、今後、このグループについて、どの様な利活用するかについて検討をすると言う枠組みの中に入ることになります。そのような施設に対して設備投資をしていくかどうかの検討も色々しなければならない状況です。

（横田委員）
　学校では、Wi-Fi が整っていない家庭には、貸出用のルーターがあって、貸出せばすぐに使用できるようになっています。それをいくつか準備すれば良いのではないですか。

（小池所長）
　公共施設で一般開放するという利用とのことですので、その辺りの整理を含めて検討していくものと考えています。
　横田委員のご意見も参考に考えていきたいと思います。

（横田委員）
　夏休みから利用することになるので、早急に対応をお願いします。
　この話がどの位前から検討しているのか分かりませんが、何年も同じ議題がされているのであれば、問題ではないですか。

（升川委員）
　昨年から参加させていただいています。検討という言葉をずっと聞いてきました。やっと具体的な案が出てきたと感じました。審議会ですので、市の事情等は分かりませんが、この審議会としては強く要望をしていくと言うことで意見を申し上げたいと思います。
　どのような形でも、子どもたちの施設であり、とても良い事業報告を聞かせて頂いているし、子どもたちが青少年センターに学習をしに来ている姿を見ると、目標にあるようなニーズにあった勉強や活動ができるように強く要望したいと思います。

（伊原会長）
事務局からの説明があったように公共施設としての利用と、家庭での利用では違いがあるようです。審議会から強い要望があったということを受け止めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

（３）令和５年度事業計画について
木澤主催事業主任指導員より、資料１５～１６ページ、令和５年度主催事業及び資料１７ページのその他、社会体験研修他の受け入れ事業について説明した。
澤田技師より、資料１７ページ、維持管理業務予定について説明した。

（伊原会長）
ありがとうございました。議題（４）につきまして、ご説明をいただきましたが、ただいまの事務局からのご説明につきまして、ご意見ご質問ございましたら、ご発言をお願いいたします。

（升川委員）
わくわくカレッジの千葉市の歴史散歩入門で、平和教育について私から意見を申し上げたのですが、今年度は大巌寺、埋蔵文化センター等となっています。蘇我地区にも平和に関するものが沢山ありますので、候補として入れて頂きたいと思います。
また、施設運営の重点目標の説明で、アンケート等によるニーズを掘りおこすとの表現がありました。２月の審議会の時には、セルフモニタリングと記載されていたので、それがアンケートに変わったので、アンケートをいつ、どの様にとって事業に活かしているのかを教えて下さい。

（木澤主催事業主任指導員）
セルフモニタリングという言葉は分かりづらいと考えました。実際に主催事業ごとアンケートを取っています。講座の時とかゆめチャレンジという大きなイベントもそうですが、“この講座はどうですか”“どのような講座に参加したいですか”など、ゆめチャレンジでは大学生や参加団体にもアンケートを取っています。アンケートをもとにして、事業の改善を図っています。
学習スペースなどは、アンケートを取っていませんが、Wi-Fi を設置して欲しいとの声を直接聴いています。

（吉岡委員）
質問ではないのですが、ツイッターによる情報発信するということは、とても良い方法だと思います。やはり、青少年へのネットからのアプローチとして、大事だと思います。知らない人への情報を伝える意味では、非常に良いツールで

あると思います。

（木澤主催事業主任指導員）
　ツイッターのアイデアについては、昨年度のインターンシップの大学生からの意見がありました。この件について調べた澤田から説明します。

（澤田技師）
　昨年度のインターンシップの大学生から、“SNS を活用したら良いのではないか”との意見をいただきました。
　広報広聴課で公式ツイッター、公式 LINE、フェイスブックなどの全庁的な管理をしていて、広報広聴課とゆめチャレンジなどの情報を発信できないかどうかの相談をしていて、回答としては情報発信できるとの回答を頂いています。
　ゆめチャレンジのイベント等を千葉市の公式ツイッター、公式 LINE、フェイスブックで情報発信しようと考えています。
　あと、ゆめチャレンジ以外にも利用案内について情報発信ができないか検討しています。南部青少年センターを知らない人がいるので、“施設について”“どのような使い方できるか”ということ知ってもらうことが重要ではないかと思います。若い世代が知ることによって利用してくれると考えています。
　ただし、利用案内だけでは公式ツイッターなどで情報発信することは規模感が小さくて発信が難しいとのことなので、他の施設と一緒に発信するなどの特集として、情報発信できないかどうか検討してもらっているところです。
　これからも、積極的に SNS を活用した情報発信をしていきたいと考えています。

（吉岡委員）
　そういったものを発信して欲しいです。ここに、“ドラムセットが録音室にある”とか“ホールにミラーボールがある”など知られていないと思います。必要な方にとっては、とても大切なことで、利用者がもっと増えると思います。

（澤田技師）
　具体的に、どういった施設があるとか情報発信をして行きたいと思います。

（木澤主催事業主任指導員）
　青少年は、毎年、新しい利用者が来たとしても卒業するなどして、入れ替わってしまいます。先週、蘇我中学校を訪問し吹奏楽部にチラシの配布をお願いしたところ、蘇我中学校吹奏楽部有志という団体で登録し、施設予約も入っています。松ケ丘中学校にも同様にチラシを配布しました。
　淑徳大学にも南部青少年センターのポスターの掲示を依頼しています。やはり、若者には SNS などの広報が有効ではないかと思います。

（伊原会長）

それでは皆様よろしいでしょうか。

令和５年度の事業計画につきまして、事務局からのご説明ありがとうございました。

（４）その他

議事録の確定方法について、会長に確認のうえ、確定することを承認された。

（伊原会長）

以上、全ての審議事項について、終了いたしました。委員の皆様方におかれましては、ご審議、ご協力ありがとうございました。それでは、事務局にお返しさせていただきます。

（事務局）

第２回運営審議会は、来年２月中旬頃に開催予定であることを各委員へお知らせした。